

## 平成23年度事務事業評価一覧表

※今後の方向性…継続、継続(要改善)、縮小、統合・連携、休止・廃止、終了・完了

※成果指標の「-」は、設定になじまないもの及び、算出不能な数値等を表します。

担当 所属	整理 番号	事務事業名	事務事業の具体的内容	成果指標				今後の方向性
				指標名	単位	22年度 実績	目標	二次評価
								推進本部
企画部	企画政策課	1-01-01 広報事務	広報誌発行(広報誌配布)、ホームページ、市内放送、などにより行政情報や市民活動、イベント、緊急情報などを市民等に情報提供する。	1カ月あたりの広報誌印刷部数	部	12,970	13,300	継続 (要改善)
		1-01-02 コミュニティバスの運行事業	葛城号及びミニバスを運行することにより、市内公共施設へのアクセスを高め、公共施設の有効利用を図るとともに、地域間を運行し、市民の利便性を高める。	葛城号 利用者数	人	12,220	12,600	継続 (要改善)
				ミニバス 利用者数	人	5,917	6,100	
		1-01-03 まちづくり事業	自主的なコミュニティ活動を促進するとともに、行政と地域との良好な協力体制を築き、協働による豊かで魅力あるまちづくりを支援するため、活動に必要な費用の助成を行う。	-	-	-	-	継続 (要改善)
		1-01-04 相談事業	随時市民から寄せられる、市政に関する要望、陳情等に対し、担当部署等と連絡を取り合い、適切な処理を行う。毎月市内2箇所にて無料法律相談所を開設し、弁護士への相談の機会を広く市民に提供している。	相談所利用人数	人	218	0	継続 (要改善)
				要望書・陳情書・ホームページに寄せられた件数	件	72	0	
	1-01-05 タウンミーティング	市民と市長等が、市政に関する対話を行うことにより、市政について幅広く市民の意見を聴衆し、また、市政に対する市民の理解を深めることを目的として実施している。	市長等と市民による懇談会	件	5	12	継続 (要改善)	
	1-01-06 事務事業市民判定会	葛城市が行っている主な事業を市民に公開し詳細に説明することにより、各事業が提供しているサービスの内容を理解していただくと共に、事業そのものが行政サービスとして本当に必要なのか、また、もっと拡充すべき等の判断を市民の皆様いただき市民参加のまちづくりを図る。	事務事業市民判定会	件	1	1	継続 (要改善)	
	情報推進課	1-02-01 地域情報化推進事業	インターネット等を利用して、必要な情報入手できるよう、インターネットが閲覧できるパソコンを提供するとともに、活用する際のサポートを行う。	インターネットパソコン利用者数	人	354	250	継続
		1-02-02 電子申請推進事業	奈良県と県下自治体が共同して電子申請・施設予約ASPシステムを利用している。市民が自宅等のパソコン・携帯電話からインターネットを経由して、施設予約、生涯学習講座の申し込みや、大型ゴミの収集依頼等の電子申請を行う。	電子申請件数	件	47	100	継続
1-02-03 市統計調査員会事務		市統計調査員会事務:基幹統計調査を正確かつ円滑に遂行することができるよう、市内全域にわたり、各区における統計調査員の安定的確保に努めており、会員相互の協力と連携を維持・強化することができるよう、補助金を交付し、研修、親睦会等の活動等、組織の維持発展を支援している。	総会への参加率	%	57	60	継続 (要改善)	
	研修会等への参加率		%	50	60			
総務財政課	2-01-01 庁舎維持管理	庁舎及び庁舎敷地内において、下記のような日常的または定期的な業務をそれぞれの専門業者に委託している。 (日常・定期)清掃業務、施設設備等保守点検、電気保安業務、電話交換機保守業務、昇降機保守業務、緑化植栽等管理業務、電話交換業務、當麻庁舎分庁舎・レセプト室警備) 空調設備の稼働は職員で行っている。	施設内での事故件数	千円	0	0	継続 (要改善)	
	2-02-01 交通安全対策事業	交通安全啓発看板の設置。信号機、交通規制等の警察との協議。交通対策協議会及び交通安全母の会による交通安全啓発事業の実施。並びに幼児2人同乗用自転車購入者に対し補助金の交付を行う。	市内交通事故件数	件数	221	200	継続	
	2-02-02 駅前自転車等駐車場維持管理事業	磐城駅駐輪場の管理及び、その他市内駅前駐輪場の整理を業者等に委託する。	磐城駅前駐輪場利用台数	台数	2,376	2,400	継続	

平成23年度事務事業評価一覧表

※今後の方向性・・・継続、継続(要改善)、縮小、統合・連携、休止・廃止、終了・完了 ※成果指標の「-」は、設定になじまないもの及び、算出不能な数値等を表します。

担当 所属	整理 番号	事務事業名	事務事業の具体的内容	成果指標				今後の方向性	
				指標名	単位	22年度 実績	目標	二次評価	
								推進本部	
総 務 部	生活 安全 課	2-02-03	放置自転車対策事業	放置禁止区域に放置されている自転車等を警察へ照会の上、回収・撤去する。	放置自転車撤去台数	台数	130	100	継続
		2-02-04	放置車輛撤去事業	市有地内または道路に違法駐車された車両を警察に盗難車か否か照会の上、適切に処理する。	違法駐車車両撤去台数	台	0	0	継続
		2-02-05	安心・安全なまちづくり事業	各種団体と連携し、市内巡回及び啓発活動を行う。	市内刑法犯の犯罪認知件数	件数	475	430	継続
					市内の身近な犯罪認知件数 (空き巣・乗り物盗・車上ねらい等)	件数	214	190	
		2-02-06	安心・安全なまちづくり支援事業	街灯設置及び、自主防犯・防災活動に対し補助金を交付する。	市内自主防犯組織率	%	16	19	継続
					市内自主防災組織率	%	68	81	
		2-02-07	防災まちづくり事業	既存木造住宅の耐震化支援、防災倉庫の食糧品等の備蓄管理、防災用機器等の保守管理、避難所誘導の整備や地域における自主防災組織の結成など平時からの災害に対する体制整備や市民の備え意識を高めていく。地震、風水害、大規模火災等の災害発生時に的確な対応をするための防災体制の充実を図り、市民の生命・財産を守る。	備蓄食糧品等確保数目標達成率	食糧水 (%)	60.0 60.0	100.0 100.0	継続 (要改善)
					自主防災組織の結成率	%	70.5	86.4	
	2-02-08	防災行政無線維持管理事業	機器の維持管理・設置等を行い、防災・行政情報を提供している。	戸別受信機修理件数	件	192	0	継続	
2-02-09	有線放送施設維持管理事業	個人・開発事業者の有線の新規設置業務及び個人宅・電柱間の有線・公民館等に設置のアンブ等の故障箇所の修理等を行い、防災・行政情報等を提供する。	有線放送施設修理	回	238	0	継続 (要改善)		
税務課	2-03-01	たばこ税賦課事務	たばこ税を適正且つ公正に課税すべく、申告書受理、調定事務等を行う。それとともに、市の財政基盤の確保に寄与するため、啓発物品を配布し、たばこの市内での購入をPRする。	たばこ税収入済額	千円	207,496	202,000	継続	
市民 窓口 課	3-01-01	人口統計業務	毎月末付けで、人口統計表を作成し、市民窓口課窓口において希望者への配布・両庁舎において掲示・市のホームページ掲載・広報記載・県統計課への報告等をしている。	人口表作成	回	12	12	継続	
	3-01-02	総合窓口業務	当麻庁舎来庁者に対し、・犬の登録、抹消業務・狂犬病予防注射済票に関する業務・犬、猫の引き取り業務・火葬場使用許可証発行及び手数料徴収業務・転入者等へのゴミカレンダーの配布及びペットボトル用ゴミ袋の配布業務・生ゴミ処理機購入費助成事業申請書取り次ぎ業務:(環境課)・水道料金の徴収業務:(水道課)・し尿処理料の徴収業務・浄化槽清掃料差額申請書取り次ぎ業務:(クリーンセンター)を、当麻庁舎、市民窓口課で代行。新庄庁舎来庁者に対し、・就学ならびに異動通知書発行業務・学齢児の異動報告業務:(教育委員会教育総務課)・観光案内業務:(商工観光課)を、新庄庁舎、市民窓口課で代行。 また、本年度より両庁舎に来訪される方に対しての各課への案内業務の実施。	住基・戸籍異動に伴う各種届出及び案内	件/年	3,147	-	継続 (要改善)	

## 平成23年度事務事業評価一覧表

※今後の方向性…継続、継続(要改善)、縮小、統合・連携、休止・廃止、終了・完了

※成果指標の「-」は、設定になじまないもの及び、算出不能な数値等を表します。

担当 所属	整理 番号	事務事業名	事務事業の具体的内容	成果指標				今後の方向性
				指標名	単位	22年度 実績	目標	二次評価 推進本部
保 険 課	3-02-01	乳幼児等医療費助成事業	乳幼児対象者については出生届時、転入時に制度の周知を行い、資格取得申請書類の確認後、対象者に医療費受給資格証を交付し、県内においては保険医療受診時に医療機関等の窓口へ提示することで、自動的に負担された医療費の一部を償還支払により助成している。また、県外での保険医療受診分については、市役所窓口へ申請されることで、負担された医療費の一部を償還支払により助成している。小児対象者については年齢到達時、転入時に制度の周知を行い、入院、歯科診療について該当があれば市役所窓口へ申請されることで、負担された医療費の一部を償還支払により助成している。	医療費の助成件数	件	31,809	32,000	継続
	3-02-02	心身障害者医療費助成事業	手帳交付時、転入時等に制度の周知を行い、提出された資格取得申請書により資格審査を行い、資格取得できる方には医療費受給資格証を交付し、県内においては保険医療受診時に医療機関等の窓口へ提示することで、自動的に負担された医療費の一部を償還支払により助成している。また、県外での保険医療受診分については、市役所窓口へ申請されることで、負担された医療費の一部を償還支払により助成している。	医療費の助成件数	件	6,063	6,100	継続
	3-02-03	ひとり親家庭等医療費助成事業	戸籍届け出時、転入時等に制度の周知を行い、提出された資格取得申請書により資格審査を行い、資格取得できる方には医療費受給資格証を交付し、県内においては保険医療受診時に医療機関等の窓口へ提示することで、自動的に負担された医療費の一部を償還支払により助成している。また、県外での保険医療受診分については、市役所窓口へ申請されることで、負担された医療費の一部を償還支払により助成している。	医療費の助成件数	件	8,694	8,700	継続
	3-02-04	重度心身障害老人等医療費助成事業	手帳交付時、転入時等に制度の周知を行い、提出された資格取得申請書により資格審査を行い、資格取得できる方については台帳登録し、後期高齢者医療保険より提供される医療費情報を基に自動的に負担された医療費の一部を償還支払により助成している。	医療費の助成件数	件	7,374	7,400	継続
	3-02-05	国保保健事業事務	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、40歳以上の葛城市国民健康保険被保険者に対して特定健康診査受診券を配布し、より多くの方が受診されるようPRを行う。また、受診者の内、要指導の条件を満たす方に対して特定保健指導を行う。人間ドックの助成事業においては、受診希望者の資格要件を確認し、希望する受診機関に対して予約を行い、受診券を発行する。	特定健診受診率	%	20.0	40.0	継続 (要改善)
				人間ドック受診実績	%	101.0	100.0	
3-02-06	国保医療費適正化事務	使用された医療費を見返っていただき適正な医療費の使用を促す。	医療費通知の通知件数	件	24,643	27,000	継続	
3-03-01	人権啓発事業	①4.11人権を確かめあう日記念集会:4月11日は、人権を確かめあう日記念集会を市あかねホールにおいて、講演会等を開催。 ②差別をなくす市民集会:7月は、差別をなくす強調月間ということで、マルベリーホールにおいて、講演会等を開催。 ③各種研修会・集会参加:年間を通じて各種研修会・集会等を市内・市外において開催。 ④街頭啓発等の啓発活動:毎月11日は、人権意識の高揚を図るため、市内を車両により街頭啓発を行う。	4.11人権を確かめあう日記念集会の参加者	人	142	150	継続	
			7月の差別をなくす市民集会の参加者	人	508	570		

## 平成23年度事務事業評価一覧表

※今後の方向性…継続、継続(要改善)、縮小、統合・連携、休止・廃止、終了・完了

※成果指標の「-」は、設定になじまないもの及び、算出不能な数値等を表します。

担当 所属	整理 番号	事務事業名	事務事業の具体的内容	成果指標				今後の方向性	
				指標名	単位	22年度 実績	目標	二次評価	
								推進本部	
市 民 生 活 部	人権政策課	3-03-02	人権政策事業	①忍海集会所の清掃・管理業務：忍海集会所の清掃及び消防設備点検を業者委託している。 ②団体との連絡調整：団体に研修会の参加要請を図り、団体との円滑な連絡調整を通じ人権施策の推進を図る。 ③人権施策協議会：人権施策協議会委員により会議を開催し、差別のないまちづくりを目指すため、市の人権施策について検討する。 ④差別事象関係：二度と差別事象が起こらないように検証する。	差別事象発生件数	件数	1	0	継続
		3-03-03	人権相談事業	①人権相談：年間を通じて毎月第2・3・4木曜日を新庄庁舎・忍海集会所・當麻文化会館で、また6月1日を「人権擁護委員の日」として新庄庁舎において人権相談所を開設し、人権相談を受けている。	人権相談件数	件	25	25	継続
		3-03-04	男女共同参画事業	①女性対策：市民が研修会に参加し、男女共同参画について、知識を深めてもらう。 ②男女共同参画計画策定協議会：男女共同参画推進計画の策定のため、委員を以って会議を開催する。 ③男女共同参画推進連絡協議会：県及び市町村による男女共同参画担当者の協議会を開催し、男女共同参画の推進を図る。	審議会委員等の委員の女性登用率	%	19.8	20.0	継続
		3-03-05	人権教育推進事業	①地区別懇談会：差別のないまちづくりのため懇談会を開催し、お互いの人権が尊重される社会を実現する。	地区別懇談会の参加者数	人	392	0	継続
	環境課	3-04-01	環境公害対策	屋外広告物事業：屋外広告の乱立や危害の防止のために屋外広告物法に基づく適正な屋外広告物の許可事務を行う。また、違反広告物には、改善指導や住民参加制度による簡易除却を行っている。 市内一斉清掃：年2回清掃を行い、それに対する地域振興補助金を交付する。 環境検査：河川の水質検査と市内8ヶ所の騒音検査を年1回ずつ実施。 公害等苦情処理：申し立てにより現地調査等を行い、行為者に適正化を求める。場合によれば、関係機関へ連絡し改善を図る。	屋外広告物許可等件数	件	54	56	継続
					違反簡易広告物除却件数	件	2,269	2,000	
		3-04-02	不法投棄物対策事業	不法投棄産業廃棄物処理(通年) 不法投棄監視カメラ設置 不法投棄防止フェンス設置	不法投棄物の処理費用	千円	437	380	継続
					不法投棄監視カメラ設置台数	台数	14	16	
					不法投棄防止フェンス設置箇所	箇所	1	1	
		3-04-03	狂犬病予防注射事業	狂犬病予防接種の場を提供、及び啓発しその発生を予防、蔓延を防止し及びこれを撲滅することにより公共衛生の向上公共福祉の増進を図ることを目的とする。	狂犬病予防注射接種済み頭数	頭	1,535	1,700	継続
犬の登録数	頭				1,999	2,100			
3-04-04	塵芥処理	・一般廃棄物収集運搬業の許可 ・缶・ビン・不燃物専用コンテナ及びペットボトル専用袋の配布 ・再生資源集団回収助成 ・家庭用生ゴミ処理機購入助成	ゴミの減量化	トン	11,591	10,200	継続		
			資源物	トン	2,169	2,200			
3-04-05	地球温暖化防止対策	葛城市の事務事業における温室効果ガスの排出抑制ならびに市民・事業者への啓蒙啓発。	温室効果ガス排出量	%	99	98	継続		
			グリーン購入	%	55	56			
3-04-06	火葬場の運営および維持管理	市民の葬儀にあたり、市営火葬場において、火葬場使用許可申請により死亡者等の火葬を支障なく執行。	市営葬儀場執行率 (火葬件数/死亡件数)	%	87.2	90.0	継続		

## 平成23年度事務事業評価一覧表

※今後の方向性…継続、継続(要改善)、縮小、統合・連携、休止・廃止、終了・完了 ※成果指標の「-」は、設定になじまないもの及び、算出不能な数値等を表します。

担当 所属	整理 番号	事務事業名	事務事業の具体的内容	成果指標				今後の方向性
				指標名	単位	22年度 実績	目標	二次評価 推進本部
				火葬炉稼働率 (火葬件数/延べ火葬炉数)	%	12.6	12.3	
	3-04-07	葛城山麓公園管理	年間を通し公園施設である事務所、公衆トイレ管理、遊具の安全確保、植栽の管理剪定、公園広場、遊歩道の清掃管理を行う。	公園利用者数	人	24,680	25,000	継続
	3-04-08	葛城市霊苑運営	市営墓地の墓参者が清々しく利用できるようシルバー人材センターに清掃、植樹の剪定を委託、又利用者の増加を見込んで新規墓地の造成工事を行う。利用者及び区画の管理。	墓地利用数	区画	1,271	1,311	継続
新庄 クリーン センター	3-05-01	新庄クリーンセンター維持管理	クリーンセンターを維持管理するにあたり清掃・警備・緑地植栽等管理・施設等管理・炉内清掃点検・電気保安・ごみ焼却施設等整備補修を実施する。	ごみ焼却施設等整備補修業務	千円	88,725	50,000	統合・連携
	3-05-02	新庄クリーンセンター(焼却施設)運営	ダイオキシン類分析調査、ごみ質等分析調査、焼却残灰等を最終処分地への運搬・埋立処分、可燃ごみの焼却処分。	焼却残灰など運搬処分業務	トン	890	1,600	統合・連携
				ごみ焼却施設運転管理業務 (ごみ焼却量)	トン	7,500	12,000	
	3-05-03	不法投棄対策	家電リサイクル券の購入により不法投棄物の内家電リサイクル法該当品を処分する。	特定家庭用機器リサイクル業務	千円	38	0	継続
	3-05-04	犬猫死体処理	犬猫死体処理業務	犬猫死体処理業務	件	89	70	継続
	3-05-05	ごみ減量化推進事業	委託業者により、粗大ごみ・資源ごみ・不燃ごみの分別収集。	粗大ごみ運搬処分業務	円/トン	106,200	0	継続
				不燃ごみ分別処理業務	円/トン	85,413	0	
	3-05-06	一般家庭ごみ収集事業	一般家庭ごみを直営で週2回収集、許可業者等の搬入受け入れ、既存ステーションの管理・新設協議・連絡。	一般ごみ収集・受け入れ業務	トン	7,000	12,000	継続
ごみステーションの管理業務				箇所	1,050	1,050		
3-05-07	し尿収集事業	バキューム車により職員が直営で収集・中継基地で一時保管。	し尿収集・中継基地管理業務	トン	3,428	3,400	継続	
			清掃手数料業務	千円	80	80		
當麻 クリーン センター	3-06-01	當麻クリーンセンター維持管理	クリーンセンターの警備業務、保守点検業務の委託並びに職員による点検、清掃、草刈などにより、効率よくかつ安全に使用できるよう維持管理を行う。	ダイオキシン類排ガス分析結果	ng-TEQ /m3N	0.043	0	統合・連携
	3-06-02	當麻クリーンセンター(焼却施設)運営	収集した可燃ごみをクリーンセンターで焼却処分をしている。	ごみ焼却量	トン	4,153	0	統合・連携
				ダイオキシン類測定値	ng-TEQ /m3N	0.043	0	
	3-06-03	當麻クリーンセンター施設整備補修工事	施設の部分補修、整備、設備更新により設備の能力の維持を行う。	ダイオキシン類測定値	ng-TEQ /m3N	0.043	0	統合・連携
3-06-04	し尿収集事業	汲取り便槽利用者の汲取りを実施	し尿汲取り量	kl	1,001	0	継続	



## 平成23年度事務事業評価一覧表

※今後の方向性・・・継続、継続(要改善)、縮小、統合・連携、休止・廃止、終了・完了 ※成果指標の「-」は、設定になじまないもの及び、算出不能な数値等を表します。

担当 所属	整理 番号	事務事業名	事務事業の具体的内容	成果指標				今後の方向性
				指標名	単位	22年度 実績	目標	二次評価
								推進本部
社 部	4-01-12	遺族会関係事業	葛城市遺族会の事務局を設置し、活動を支援。 10月1日に文化会館にて戦没者追悼式を挙げる。	戦没者追悼式出席者数	人	340	340	継続
	4-01-13	福祉総合ステーション指定管理委託	福祉の総合施設として、市民に対し温水プール・風呂・カラオケ・パターゴルフ・卓球等を提供している。	施設利用者数	人	122,267	123,500	継続 (要改善)
	4-01-14	社会福祉協議会運営補助業務	地域福祉の推進を図るための中核的役割を担う葛城市社会福祉協議会の運営を支援。	社会福祉協議会会員数	人	1,976	2,000	継続
子 育 て 福 祉 課	4-02-01	保育所管理・運営事業	・公立保育所3ヶ所と私立の保育園3ヶ所があります。 ・保護者が仕事や病気等で児童を保育できないときに入所できます。 ・対象児童 生後6ヶ月～5歳 ・保育時間 午前8時00分～午後4時30分(ただし、保育所・園によっては午前・午後の時間延長も行っています。)	入所措置児童数	人	672	680	継続
	4-02-02	保育所施設整備事業	市が策定する保育所の整備計画に基づき、保育所整備を行う。	A民間保育所新築工事の進捗率	%	-	-	継続
				B磐城第2保育所整備事業	%	10	55	
	4-02-03	児童館・学童保育所運営事業	【児童館】児童の心身の健全な育成と福祉の増進のため設置し、子どもたちに豊かな体験活動の機会を提供し、子どもたちが「ゆとりの中で生きる力をはぐくむ」を目的としている。いろいろな活動を実施しています。 【学童】放課後・学校休業期間に保護者が労働等により、昼間家庭にいない幼稚園児・小学校低学年児童等(以下「放課後児童」という。)に対し、学校の空き教室等で授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を与え、その健全な育成を図る。	児童館年間利用者数	人	7,456	7,600	継続
				学童年間利用者数	人	42,737	46,000	
	4-02-04	子育て支援センター事業	地域の子育て支援拠点として、子育てに関する情報提供や相談、子育てサークルの育成・支援などの各種子育て支援事業を行う。	つどいの広場利用者	人	9,927	10,000	継続
				子育て教室利用者	人	2,406	3,000	
4-02-05	ファミリー・サポート事業	援助会員及び利用会員の募集、登録、援助会員の講習、相互援助活動の調整などを行い、ファミリー・サポート・クラブのスムーズな運営に努める。	会員数	人	137	180	継続	
			延利用件数	件	330	350		

## 平成23年度事務事業評価一覧表

※今後の方向性…継続、継続(要改善)、縮小、統合・連携、休止・廃止、終了・完了 ※成果指標の「-」は、設定になじまないもの及び、算出不能な数値等を表します。

担当 所属	整理 番号	事務事業名	事務事業の具体的内容	成果指標				今後の方向性
				指標名	単位	22年度 実績	目標	二次評価 推進本部
長 寿 福 祉 課	4-03-01	老人クラブ育成事業	高齢者が住み慣れた地域で、活動的で生きがいのある生活ができるよう関係団体の育成及び活動を支援する。	60歳以上の市民の寿連合会加入者割合	%	50	55	継続
	4-03-02	老人保護措置事業	家庭環境等により、居宅で生活できない高齢者の養護老人ホームへの入所申請を受理、入所判定委員会を実施、措置決定すれば養護老人ホームへの入所措置を行い生活の場を確保する。	措置入所率	%	50	-	継続
	4-03-03	一般高齢者施策事業	独居等の高齢者に対し、火災報知器等の日常生活用具の給付、軽度な日常生活上の援助、緊急通報装置の設置、昼食時安否確認を兼ねた配食、低所得者に対する電話料金基本料の助成。 寝たきりや外出困難な高齢者に対し、理美容師の出張経費の補助や訪問歯科診療の実施	事業利用者数	人	465	530	継続
	4-03-04	敬老事業	「敬老の日」に70歳以上の高齢者を対象に、敬老の意を表すとともに高齢者の福祉の増進を図る。 満100歳、88歳を迎えた高齢者に敬老祝品を贈与。 満85歳以上の高齢者を対象に敬老年金を支給。 満83歳、84歳を迎えた高齢者に祝金を支給。(この事業は、平成21年度で終了。)	70歳以上の市民の敬老会参加者割合	%	17	20	継続
	4-03-05	老人憩いの家管理事業(忍海)	高齢者憩いの家として、教養の向上、レクリエーション等の場の提供。	当該地区の利用者の割合	%	48	50	継続
	4-03-06	高齢者施設助成事業	高齢者の就業機会の増大と、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりを推進するため葛城市シルバー人材センターに対し、助成を行う。高齢者の介護予防やレクリエーションの場であるゲートボール場の土地賃借料の補助を大字に対して行う。	シルバー人材センター会員数	人	210	220	継続
				ゲートボール場利用者数	人	100	100	
	4-03-07	介護予防普及啓発事業	要介護高齢者を介護している者や65歳以上ひとり暮らし高齢者、また痴呆性高齢者及びその家族に対して介護、認知症についての啓発情報提供、紙おむつの現物支給、ひとり暮らし老人宅の訪問、介護者相互間の交流会、要介護4、5の高齢者の介助者に介護慰労金を支給。	事業利用者数	人	315	395	継続
4-03-08	家族介護支援事業	65歳以上独居その他の高齢者に対して、定期的に栄養バランスのとれた昼食を訪問により提供、日常生活に関する支援、指導等を行うため生活指導員の派遣、施設に一時的に宿泊させ、生活習慣等の指導を行い自立支援を図る。	事業利用者数	人	97	122	継続	
保 い き い き セ ン タ ー	4-04-01	いきいきセンター運営業務	高齢者の、心身の健康保持、教養の向上、レクリエーションの場等を提供し、いきいきとした生活を過ごすための事業を総合的に実施。 ・定期教室の開催・無料健康相談の開催・各部屋の貸し出し・送迎バスの運行など。 ・いきいきセンター運営委員会を開催し、運営の向上に努める。	いきいきセンター年間利用者数	人	40,930	42,000	継続
	4-04-02	いきいきセンター維持管理業務	60歳以上の高齢者が健康で明るい生活を営む施設の維持管理を行うため、館内の日常清掃、設備・機器の稼働等の業務及び定期的な清掃、設備・機器の保守点検、維持修繕等の管理に努める。	いきいきセンター年間利用者数	人	40,930	42,000	継続
	4-05-01	母子健康管理事業	妊婦、乳児の健康診査や母子健康手帳の発行。乳幼児(1歳6か月児、3歳6か月児、4か月児、10か月児、2歳6か月児)健診等。	乳幼児相談参加者の経観児の延べ参加者数	人	607	150	継続



## 平成23年度事務事業評価一覧表

※今後の方向性…継続、継続(要改善)、縮小、統合・連携、休止・廃止、終了・完了      ※成果指標の「-」は、設定になじまないもの及び、算出不能な数値等を表します。

担当所属	整理番号	事務事業名	事務事業の具体的内容	成果指標				今後の方向性
				指標名	単位	22年度実績	目標	二次評価 推進本部
福祉部       健康増進課				乳幼児健診未受診者のフォロー率	%	98	100	継続
	4-05-02	母子健全育成事業	ペアレンツクラブ、離乳食教室(4か月、10か月児健康診査同時実施)、乳幼児健康相談、すくすく子育て相談、新生児・妊産婦訪問指導、母子訪問指導等において、管理栄養士、心理発達相談員、助産師等による指導、相談等を実施。	乳幼児相談参加延べ人数	人	1,313	1,500	継続 (要改善)
				新生児・乳児訪問数(実人員)	人	247	250	
	4-05-03	健診事業	葛城市の実施する集団健診、又は県内医療機関における個別健診において、特定健康診査、プレ特定健康診査、健康増進法に基づく健康診査を実施する。	特定健診受診率	%	20.1	30.0	継続
	4-05-04	保健指導事業	特定健康診査等を受診した市民の内、指導の対象となった方に対して、集団および個別方式にて保健師、管理栄養士による保健指導を実施。	積極的支援対象者参加率	%	36.5	40.0	継続
				動機付け支援対象者参加率	%	46.5	50.0	
	4-05-05	健康教室事業	健康相談、健康教育、心の健康づくり教室、健康手帳交付、あんじょうみそづくり、ウォーキングエントリーにおいて、保健師、管理栄養士による指導、各種講師による講演会等を実施。	健康づくり自主活動グループ数	組	4	15	継続 (要改善)
	4-05-06	検診事業	・葛城市の実施する集団健診、又は市内医療機関及び県内医療機関における個別健診において、各種がん検診(胃がん、肺がん、子宮がん、乳がん、前立腺がん、大腸がん)を実施。 ・葛城市の実施する集団健診において、結核検診を実施。 ・申請のあった者に対して、脳ドック検診受診料に対して一定の基準のもと、助成金を交付。	各種がん検診の受診率	%	胃5.8%・肺6.3%・子宮19.9%・乳9.5%・大腸12.5%・結核3.7%	各がん検診50%	継続
				脳ドック検診受診率	%	0.54	0.70	
	4-05-07	健康づくり推進事業	きらり葛城市21計画の普及推進を図る。 健康づくりボランティアの育成。	推進パートナーの活動参加延べ人数	人	89	100	継続 (要改善)
				健康づくり推進員自主活動大字数	回	10	20	
4-05-08	救急医療体制整備事業	橿原市休日夜間応急診療所及び葛城地区休日診療所において、深夜及び休日等に受診できるように、医療体制を整備する。	休日急患診療所(内科、歯科)利用者数	人	800	900	継続	
			小児深夜診療所利用者数	人	90	100		
			産婦人科一次救急	人	21	20		
4-05-09	献血啓発事業	赤十字血液センターが実施する献血活動を啓発する。	市内での献血実施回数	回	6	6	継続	
4-05-10	駐車場管理運営事業	地権者より土地を借り上げ、新庄健康福祉センターの駐車場として活用する。	駐車可能台数	台	59	59	継続	
4-05-11	施設運営事業	両センターの利用申請書、行政財産利用許可申請を審査し適切な施設利用、施設運営を管理する。	施設利用者数	人	4,047	4,000	継続	

## 平成23年度事務事業評価一覧表

※今後の方向性…継続、継続(要改善)、縮小、統合・連携、休止・廃止、終了・完了 ※成果指標の「-」は、設定になじまないもの及び、算出不能な数値等を表します。

担当 所属	整理 番号	事務事業名	事務事業の具体的内容	成果指標				今後の方向性
				指標名	単位	22年度 実績	目標	二次評価 推進本部
	4-05-12	施設管理事業	機器、備品等の管理を行い、必要がある場合は修繕を施す。 両センターの清掃業務を業者及び葛城市シルバー人材センターへ委託する。 両センターの施設及び各種設備の保守又は管理を業者へ委託する。 両センターの警備業務を業者へ委託する。	施設内での事故件数	回	0	0	継続
	4-05-13	補助金交付事業	各種団体からの補助申請を受理し、精査の後、適切であると判断した場合は、補助金を交付する。	補助金額	円	460,000	460,000	継続
	4-05-14	健康管理システム保守管理事業	健康管理システムのソフトウェア、ハードウェアの保守管理を業者へ委託する。	-	-	-	-	継続
都市 計画課	5-01-01	街路事業施設維持管理事業	年1回、新庄駅前広場・JR駅前公園・ポケットパークの除草剪定業務委託を行い、安全で快適な空間の維持に努めている。また、職員により除草剪定とともに散水を行い維持管理に努めている。 近鉄新庄駅地下道についても、週2回(月・木)の清掃と年4回の特別清掃業務を委託し、維持管理を行っている。 駅前通り線の街灯等の維持修繕についても必要に応じて実施している。	近鉄新庄駅地下道清掃回数(年間)	回	100	0	継続 (要改善)
				JR大和新庄駅周辺維持管理	回	48	0	
	5-01-02	街路事業	平成元年9月に都市計画決定の「新庄駅前通り線」(L=950m、W=16m)については、平成2年8月以降に事業認可を得た全4工区830m区間において道路改良工事として整備事業を進めている。平成23年3月末日時点では、三つの工区494mが完成し、4工区336m区間の平成23年度末の完成を目的に整備を進めている。	歩道整備率	%	93	0	継続
	用地取得 用地率	%	96	0				
	5-01-03	まちづくり交付金事業	JR大和新庄駅周辺地区における都市再生整備計画に基づく、道路事業、土地区画整理事業などの実施	事業進捗率	%	86	0	終了・完了
都市 整備部	5-02-01	道路交通安全整備事業	直営による保守管理・交通安全施設の新設及び不良箇所の維持修繕を行う。	カーブミラーの設置修繕本数	本	66	80	継続
				道路区画線、防護柵の整備延長	m	2,900	4,500	
	5-02-02	道路維持補修事業	地元要望等及び道路パトロールにより、現場確認の上、緊急度の高い順に路面舗装、排水管補修など道路維持事業を直営又は請負により実施する。	処理対応割合	%	100	100	継続
	5-02-03	道路新設改良事業	地元要望により道路幅員の拡幅、路面舗装、歩車道の段差解消など道路の改良事業の実施	要望、必要工事完成率	%	80	100	継続
	5-02-04	地方道路交付金事業	地元要望を踏まえバイパス道路の拡幅などの道路の改良事業を基盤とした地域活性化事業	工事完了率	%	100	-	継続
	5-02-05	災害復旧事業	災害発生時に復旧に要する作業	復旧率	%	-	100	継続
建設	5-02-06	公園館維持管理事業	ふるさと公園内の修繕や清掃、施設整備などにより公園の美観や安全性を保ち、安全で良好に利用できるようにする。	ふるさと公園利用者	人	96,000	100,000	継続 (要改善)
	1㎡当たり維持管理コスト	円	297	350				

## 平成23年度事務事業評価一覧表

※今後の方向性…継続、継続(要改善)、縮小、統合・連携、休止・廃止、終了・完了 ※成果指標の「—」は、設定になじまないもの及び、算出不能な数値等を表します。

担当 所属	整理 番号	事務事業名	事務事業の具体的内容	成果指標				今後の方向性	
				指標名	単位	22年度 実績	目標	二次評価 推進本部	
課	5-02-07	公園緑地維持管理事業	公園及び緑道の環境を整え、安全かつ効果的に保持し、利用者が安心快適に利用できるようにする。	樹木の剪定・消毒・施肥及び除草等を行った箇所数	箇所	45	40	継続 (要改善)	
				児童公園等樹木及び枯木の伐採・除伐をした箇所数	箇所	4	5		
	5-02-08	市営住宅管理事業	市営住宅の維持管理、修繕等を行う。入居者募集及び使用料の徴収を適切に行う。	市営住宅使用料収納額	千円	16,719	17,000	継続	
				市営住宅修繕料	千円	982	1,500		
	5-02-09	尺土駅前周辺整備事業	ターミナル拠点として市の玄関口にふさわしい駅前広場整備	事業の完成率	%	10	15	継続	
	5-02-10	地域活性化(仮称 道の駅)整備事業	道の駅を核とした地域産業・観光の活性化を目指した整備事業	事業の完成率	%	5	20	継続	
	5-02-11	国鉄坊城線整備事業	大和高田バイパス、京奈和自動車道、南阪奈道路を含めた広域的な交通機能を高める整備事業	事業の完成率	%	—	—	—	
	農 林 課	6-01-01	農業経営基盤事業	認定農業者の育成及び農用地の利用集積の方向性を具体的に明らかにするよう指導を行う。	利用権設定面積	ha	18	20	継続
					認定農業者数	人	59	60	
		6-01-02	農業振興事業	農業の振興を図り、地域の発展と活性化に寄与する農業団体に対し、事業の円滑な推進と団体の健全な育成を図ることを目的とする補助金を交付する。	新規就農者数	人	0	1	継続
					担い手農家数	人	59	59	
6-01-03		農業用水管理事業	葛城市の農業用水は、吉野川分水にほとんどが依存してことにより、地域の農業の活性に寄与する吉野川分水管理を各地域の土地改良区等に依存していることにより、用水管理事業の円滑な推進及び団体の健全な育成を図ることを目的とする補助金を交付する。	土地改良区検査件数	回	6	8	継続	
				分水現地調査件数	回	40	40		
6-01-04		戸別所得補償制度推進事業	葛城農業推進協議会において転作助成単価・目標面積等を策定し、各大字に配分し実績にもとづく助成を行っている。	転作達成率	%	44	44	継続	
				保全管理面積	ha	80	75		
6-01-05	有害鳥獣駆除事業	鳥獣による生活環境、農林業又は生態系に係る被害の防止のための鳥獣の捕獲等又は鳥獣の卵の採取等、いわゆる有害鳥獣駆除のための鳥獣捕獲許可の実施及び助成。	被害面積(イノシシ)	ha	10	5	継続		
			被害面積(アライグマ)	ha	1.5	1.0			
6-01-06	林業振興事業	森林の造成を推進し、森林資源の培養と水資源の涵養、自然環境と林地の保全を図る。又、計画的な森林経営を図り、森林の豊かな成長を促進するため、林地の調和のとれた森林整備を行う。	里山林機能回復面積	ha	0.50	0.25	継続		
			間伐面積	ha	21.00	17.00			
6-01-07	地籍調査事業	土地の配列の順序に従い、土地の所有者その他の利害関係人又はこれらの者の代理人と立会。毎筆の土地について、その所有者、地番、地目及び筆界の調査を行う。	地籍調査事業進捗率	%	76.60	76.60	継続 (要改善)		
6-01-08	畜産事業	畜産業の振興を図り、事業の円滑な推進と団体の健全な育成を図る。	畜産業認定農業者数	人	17	17	継続		

## 平成23年度事務事業評価一覧表

※今後の方向性…継続、継続(要改善)、縮小、統合・連携、休止・廃止、終了・完了 ※成果指標の「-」は、設定になじまないもの及び、算出不能な数値等を表します。

担当 所属	整理 番号	事務事業名	事務事業の具体的内容	成果指標				今後の方向性	
				指標名	単位	22年度 実績	目標	二次評価 推進本部	
産業 観光部	6-01-09	農業関連施設管理事業	地域農業の振興と活性化を図る。	休養センター施設利用件数	件	192	0	継続 (要改善)	
				ふれあい広場施設利用件数	件	169	0		
	6-01-10	農業土木事業	老朽化したため池、水路等を改修する。又農地における災害時において復旧に努めることにより農地の保全と質的向上の促進を図る。	ため池改修	箇所	1	3	継続	
				災害復旧	箇所	0	0		
	6-01-11	ゆめフェスタin葛城	11月7日に当麻寺駅より當麻寺境内の至る参道において開催。 市民相互の交流の場を提供し、約150団体による模擬店の出店などの協力を得て、多くの市民が集えるイベントとする。	文化とコミュニティまつり参加者	人	30,000	40,000	統合・連携	
	商工 観光課	6-02-01	消費生活相談事業	相談窓口を設置し、相談員が消費者の苦情やトラブルに対しての相談に応じ、問題を解消していく。また、消費生活に関するパンフレット等を作成し各家庭に配布することで、消費生活における知識向上と、消費者トラブルの未然防止を図る。	消費生活相談(者)数	件	58	100	継続 (要改善)
		6-02-02	中小企業資金融資制度事業	市内の中小企業者の金融の円滑化を図るため、その事業に必要な融資の斡旋を行い、経営の近代化、合理化及び体質の安定強化、企業の成長発展振興を図る。	融資借入件数	件	33	50	継続
		6-02-03	商工振興活性化事業	商工会・市内の商工団体に、運営・事業に対しての補助金を交付する。	補助団体数	団体	12	11	継続 (要改善)
		6-02-04	小規模事業者支援事業	葛城市商工会が窓口となって借入を行う中小企業経営者に対して、市が融資に係る利子と信用保証料の一部助成を行う。	利子補給率	%	2.4	2.9	継続
					保証料助成率	%	0	0.4	
6-02-05		企業内人権啓発事業	企業内人権教育推進協議会を運営し、各企業において人権問題・男女共同参画等の取組を推進してもらえよう啓発を行う。	総会への参加率	%	22	35	統合・連携	
				研修会等への参加率	%	25	40		
6-02-06		観光施設維持管理事業	葛城市の観光に訪れた方に対して快適に施設を使って頂くよう維持管理を行う。	観光駐車場駐車延べ台数	台	1,549	1,500	継続	
6-02-07	観光活性化事業	観光事業、観光客の誘致、観光情報の発信によるPR、相撲館等の観光施設の維持を行うと共に葛城市の観光振興に努める。	市内への観光来訪者数	千人	552	600	継続 (要改善)		
6-02-08	相撲館維持管理事業	7月 市内小学生を対象にした相撲大会(観光協会主催) 8月 相撲体験を開催(市内外の小学生以下対象) 年間を通じて相撲の普及活動及び相撲を通じての観光の活性化。観光客への観光案内	インバウンド政策(外国籍の来館者、通訳等の付添者の入館料免除)	人	251	200	継続		
			来館者数(有料入館者数)	人	17,680 (2,111)	18,000 (2,200)			
6-02-09	企業誘致の推進	県の関係部局と連携を図りながら、工業用地等に企業を誘致する。	誘致企業数	社	0	1	継続		

平成23年度事務事業評価一覧表

※今後の方向性・・・継続、継続(要改善)、縮小、統合・連携、休止・廃止、終了・完了 ※成果指標の「-」は、設定になじまないもの及び、算出不能な数値等を表します。

担当 所属	整理 番号	事務事業名	事務事業の具体的内容	成果指標				今後の方向性	
				指標名	単位	22年度 実績	目標	二次評価 推進本部	
	6-02-10	平城遷都1300年事業	2010年に、奈良県において平城遷都1300年祭が開催されるに伴い、葛城市の特色を生かしたイベントを開催し、市のPRを行う。	葛城市への観光客数	人	552,000	600,000	終了・完了	
消 防 本 部	総務課	7-01-01	消防庁舎維持管理事業	消防署の当直職員の仮眠用として、寝具一式を13組リースしている。 消防庁舎の床面洗浄ワックス掛け及び窓ガラス清掃を年4回実施している。 消防設備(自火報、誘導灯、消火器)の点検を年1回実施している。 消防署で発生する粗大ごみの処理を年1回業者に委託している。	-	-	-	継続	
		7-01-02	消防団運営事業	消防団の人事管理、施設管理、団員表彰、福利厚生等	消防団員数	人	112	115	継続
				消防団出動回数	回	10	目標設定 になじま ない		
	警防課	7-02-01	消防施設整備事業	開発指導による消火栓や防火水槽の設置及び市が消火栓や防火水槽を設置することにより、火災時に円滑な消火活動がおこなえる。	消火栓・防火水槽の新設箇所	基	9	13	継続
	消防 指令 課	7-03-01	通信設備維持管理事業	通信施設を維持していくため保守管理を業者に委託し、また職員により保守点検を実施して、不具合の改修を実施し各種災害の受報、出動等の活動が迅速・円滑に行えるよう備える。	通信指令施設保守点検	回	1	0	継続
					消防指令装置の新データ入力	回	12	0	
		7-03-02	救急・救助維持管理事業	常時、救急・救助資機材の維持管理に努めるため保守業務を業者に委託し、また消防職員が逐次点検保守を行い、不具合箇所は改修して災害等に迅速及び円滑に対応できるように備える。	救急・救助資機材保守点検	回	1	1	継続
		7-03-03	広報等事務事業	救急・救助統計の作成、啓発ポスター・広報誌等により、また街頭啓発(スポーツ施設・スーパー等)でポケットティッシュを配布して救急業務等の内容を理解してもらう。	救急・救助業務内容の把握	回	1	1	継続
	応急手当の普及				回	3	3		
	予防課	7-04-01	火災予防事業	各種火災予防運動や年間行事計画により、駅前・街頭でのティッシュ及びチラシ配布や事業所等で火災予防に関する啓蒙啓発活動を行う。	火災発生件数	件	3	0	継続
防火ポスター募集率					%	61	0		
消	7-05-01	公聴処理事業	市民・事業所からの苦情・要望に対処する。	公聴件数	件	0	0	継続	
	7-05-02	消防防災訓練指導事業	消防職員を派遣して、災害発生時の訓練・指導を実施し、災害発生時の対応が効果的に行えるようにする。	消防防災訓練参加人数	人	800	800	継続	
	7-05-03	見学・広報事業	消防署を見学し、説明を受けて、消防署の仕事に理解をいただく。	消防署見学者数	人	500	500	継続	

## 平成23年度事務事業評価一覧表

※今後の方向性…継続、継続(要改善)、縮小、統合・連携、休止・廃止、終了・完了 ※成果指標の「-」は、設定になじまないもの及び、算出不能な数値等を表します。

担当 所属	整理 番号	事務事業名	事務事業の具体的内容	成果指標				今後の方向性
				指標名	単位	22年度 実績	目標	二次評価 推進本部
防 署	7-05-04	各種救急講習事業	心肺蘇生法を主とした応急(救命)手当の普及啓発	講習回数	回	29	0	継続
				講習受講人員	人	567	0	
	7-05-05	幼児防火教育業務	5月のこどもの日を中心に、幼稚園・保育所・保育園(12施設)を訪問し、スライドに映し出された火遊び等の絵に対して、園児と問答方式や対話方式により火の恐ろしさや火事の怖さを教え、子供の火遊びによる火災の発生防止と火災による犠牲者を出さないように教育し、アニメの防火ビデオの放映と3つの約束をし、防火風船のプレゼントをしている。	防火勉強会への参加者数	人	1,395	0	継続
				子供の火遊びによる火災件数	件	0	0	
下 水 道 課	8-01-01	下水道普及事業	水洗化対象家屋の現地調査や戸別訪問による勧奨指導を行い、また供用開始後3年以内の接続者に対し助成金交付等により水洗化促進を図る。	水洗化促進戸数	戸	141	-	継続 (要改善)
				水洗化率	%	82	-	
	8-01-02	下水道特別会計運営事務	公共下水道事業における経常的な事務の執行 ・公共下水道使用料徴収事務 ・起債申請事務及び消費税申告事務	下水道使用料徴収率	%	97	-	継続
	8-01-03	特定事業場水質管理事業	適切な届出の指導審査により、排水を監視指導する。	特定施設の審査、監視件数	件	31	0	継続
	8-01-04	排水設備設置事業	下水道管接続のための許可等の申請時や、排水設備の確認申請時の審査及び施工完了時の竣工検査を行う。	排水設備確認申請件数	件	282	-	継続
	8-01-05	下水道施設維持管理事業	下水道施設の位置や構造、能力を適正に把握し、公共施設として安全で快適な暮らしを保持するため、維持管理を継続的に実施して十分にその機能を発揮させる。	下水道管渠延長	km	250	-	継続
	8-01-06	下水道建設事業	公共下水道管渠等の整備	公共下水道整備人口	人	400	-	継続 (要改善)
上 下 水 道 課	8-02-01	事務所等資産管理業務	水道事業に係る事務所等の資産を適正に管理し、運用する。	公用車走行距離	km	89,658	0	継続 (要改善)
				公用車燃費(走行距離/燃料)	km/l	8.8	0.0	
				公用車板金等外装修繕件数	件	1	0	
				公用車・事務所等事故発生件	件	0	0	
	8-02-02	水道料金徴収業務	水道メーター検針により使用量を確認し、水道使用世帯(事業所を含む)から水道料金を徴収する。	金融機関口座振替による収納件数	件	67,187	67,600	継続 (要改善)
				コンビニ窓口支払による収納件数	件	6,399	6,800	
				金融機関口座振替による収納率	%	86.34	86.22	
				コンビニ窓口支払による収納率	%	8.22	8.67	
	8-02-03	水道施設管理運営業務	水源池等から取水した原水を浄水場等の施設や薬品等により浄水し、水道水として供給する。	配水量	千t	5,322	0	継続 (要改善)
				配水量/取水量	%	95.2	0	
8-02-04	給水・配水管等工事業	給水・配水管等の維持管理を行うため、配水管等の布設工事の計画、設計、監督、竣工検査、工事施工上の諸手続を行い、水道水の安定した供給を行う。	石綿管からの更新率	%	0.10	0		

## 平成23年度事務事業評価一覧表

※今後の方向性・・・継続、継続(要改善)、縮小、統合・連携、休止・廃止、終了・完了 ※成果指標の「-」は、設定になじまないもの及び、算出不能な数値等を表します。

担当 所属	整理 番号	事務事業名	事務事業の具体的内容	成果指標				今後の方向性
				指標名	単位	22年度 実績	目標	二次評価 推進本部
MP 水道課				耐震管への更新率	%	0.10	0	継続 (要改善)
				有収率	%	95.2	0	
				導水管・送水管・配水管延長の 合計	km	230.0	0	
	8-02-05	給水装置管理施工事業	給水申請に基づき、量水器を設置し、また、法定により設置から8年を経過した量水器を取替え、良好な状態を維持し、管理を行う。	量水器1個当たりの取替費用 (13mm)	円	790	0	継続 (要改善)
				量水器1個当たりの取替費用 (20mm)	円	890	0	
				量水器1個当たりの取替費用 (25mm)	円	990	0	
	8-02-06	県営水道受水業務	水道水を安定して供給するため、奈良県営水道から受水して供給する。	総取水量のうち県水受水量の 占める割合	%	23.8	0	継続
				給水原価	円	120.9	0	
	8-02-07	原水取水業務	水道水を低料金で供給するため、水源池等から原水を取水する。	総取水量のうち原水取水量の 占める割合	%	76.2	0	継続 (要改善)
				給水原価	円	120.9	0	
	議会事務局	9-01-01	議会事務局事務  会議の準備・開催・記録などの議事関係事務、議会図書の整理、他市への照会・調査、議員研修、行政視察受け入れなどの議員活動支援事務。会議録の作成、ホームページ、広報への掲載などによる議会情報公開事務等。	一般質問提出議員数	人	30	30	継続
				傍聴者数	人	98	100	